

平成23年度 学校経営計画書

学校番号	16	学校名	静岡県立三島北高等学校	校長名	鈴木 まき子
------	----	-----	-------------	-----	--------

1 目指す学校像

校訓「自律」のもと、「①確かな学力を身につけよう、②健やかな心身を育てよう、③豊かな人間性を培おう」を教育目標に、恵まれた教育環境のもとで、醇美な校風を継承し、高い志を持ち、国家・社会を担う人材を育成する。

2 中期的目標

- (1) 自ら学び、自ら考え・行動する姿勢を持ち、真理を探究する心を育む。
- (2) 時間を尊び、場を浄め、礼を正す指導を通して社会性を高め、醇美な心を育成する。
- (3) 日本の美や文化と異文化の理解を深め、国際的に活躍できる力を育成する。
- (4) 部活動や学校行事などの諸活動をとおして、たくましい心身と豊かな人間性を育む。
- (5) 学校の歴史と風格を現す豊かな自然を守り育て、豊かな心の育成に活用する。

3 今年度の重点目標（学校経営目標）と方策

- (1) 自ら学び、自ら考え・行動する生徒を育成する。
 - ① 8時20分からの朝読書に自主的・積極的に取り組ませる環境を整備する。
(8時15分に準備開始、10分間の確保を徹底、全教職員で取り組む)
 - ② 生徒全員の意欲的態度を育て、思考力を高める授業を工夫する。
 - ③ HR活動・生徒会活動に自主的・積極的に取り組ませる。
 - ④ 自学自習の習慣化を各教科で確立する。
- (2) 基礎基本の確実な定着を図り、応用力・思考力を高め、真理を探究する心を育成する。
 - ① シラバスを明示し、45分授業を時間厳守で実施する。
 - ② 素材を媒介として、論理的思考力を高め、考えを言語化する授業を目指す。
 - ③ 週末課題の工夫と習慣形成のための指導徹底を図る。
 - ④ 「八帰二修」を生活信条とし、8時帰宅。最低1日2時間の家庭学習を徹底させる。
(家庭学習時間調査の定期的な実施と効率的な学習時間の確保)
 - ⑤ 部活動と学習活動とのケジメをつけ、メリハリある生活を身につけさせる。
 - ⑥ 土曜講座・放課後補習の充実を図り、参加を促し、最後まで継続させる。
(参加率1年75%以上、2年、3年35%以上)
 - ⑦ 長期休業中の補習活動の充実を図り、基礎力・応用力の充実に努める。
 - ⑧ 土曜日を授業日とすることについて検討する。
- (3) 時間を尊び、場を浄め、礼を正す指導を通して社会性を高め、醇美な心を育成する。

〈時間を尊ぶ〉

 - ① 始業開始時に着席して待つ指導を徹底する。
 - ② 8時20分からの朝学・朝読に積極的に取り組ませる。

〈場を浄める〉

 - ① 全員清掃の徹底を図る。
 - ② 生徒による環境美化を積極的に推進する。

〈礼を正す〉

- ① 正しい服装、清楚な頭髪を徹底し、北高生としての品格を高める。
 - ② 登校時及び来客などへの挨拶の励行を推進する。
 - ③ 外装が整ってこそ、こころ自ら平静となるを実践する。
- (4) 高い志を育み、進路希望の実現を図る。
- ① シラバスに基づき、授業のレベルを上げ、生徒のニーズに応える。
(研究授業の実施、外部機関の研修への参加の推進)
 - ② 進路意識の高揚を図る体系的な指導を実施する。
(職業講座・進路別講座の充実)
 - ③ 生徒一人ひとりの進路相談を充実する。(4月と9月に面接週間を設定)
 - ④ 5教科7科目の総合的な学力を向上させる。(5教科型受験者数220人以上)
 - ⑤ 一般入試を推進し、高い目標の実現に向け最後まで努力させる指導を推進する。
(大学センター試験受験者270人以上、推薦入試受験者数30人以下)
 - ⑥ 新学習指導要領に対応した新しい教育課程を作成する。
 - ⑦ 進路検討会の年3回(7月、12月、1月)実施を継続する。
 - ⑧ 1, 2年次の進路研究として大学訪問等を企画し、自己実現への一歩とする。
(1年または2年で全員が実施)
 - ⑨ 大学センター試験の各教科の平均点を全国平均以上にすることを目標とし、その実現のために模試データの分析を各教科で細かく行い、日頃の学習指導に反映させる。
- (5) 日本文化や異文化の理解を深め、国際的に活躍できる力を育成する。
- ① 講演、芸術鑑賞、LHR・総合的学習、授業などを用いて、日本の美や文化への理解を体系的に行う。
 - ② 海外修学旅行を継続し、異文化の理解と国際感覚の育成を図る。
- (6) 部活動や学校行事等に積極的に取り組み、成就感・達成感を体験することにより、豊かでたくましい心身を育成する。
- ① 部活動への全員加入を継続的に推進し、短時間でも密度の濃い活動をする。
 - ② 合唱コンクールなどのホームルーム活動を通して、豊かな人間性を育む。
- (7) 男女共学化を一層推進し、広報活動を充実する。
- ① 男子志願者数の増加を図る。(男女比1:1に近づける)
 - ② 広報活動の一層の推進を図る。(「北高通信」の年3回程度発行)
 - ③ PTA、後援会、同窓会との連携を深め、地域への情報発信を積極的に行う。
- (8) 安全教育を推進する。
- ① 防災意識の高揚を図る。
 - ② 近隣の学校、警察、自治体との情報交換を密にし、素早い対応と注意の喚起を行う。
 - ③ 生徒個人情報の管理を徹底する。
 - ④ 交通安全指導の徹底を図る。(交通加害及び被害事故ゼロ)
- (9) 予算の適正な執行管理及び学校事務の円滑な遂行を図り、教育環境の充実に努める。
- ① 学校経営予算の適正化に努め、特色化を図る。
 - ② 法令を遵守し、正確かつ迅速な事務処理を行う。
 - ③ 学校施設・設備の保全に努め、教育環境の整備を行う。
 - ④ 前庭や紫苑の森の樹木を適正に管理し、学校の風格を高める。